会長		担当理事		会計	

埼医業Ⅰ第86 -1号
令和５年４月１０日

郡市医師会長　殿

埼玉県医師会長　金井　忠男
（担当常任理事　　登坂　英明）

２０２３年度のパリビズマブ（シナジス®）の投与時期について

標記のことについて、日本小児科学会埼玉地方会から昨年に続き周知依頼がありました。

つきましては、別紙のとおり、埼玉県小児科医会長、埼玉県産婦人科医会長あて会員への周知を依頼しましたので、ご承知おきくださるとともに、貴会管下所属の病院あてにご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

担　当：業務Ⅰ課　石田
ＴＥＬ：０４８－８２４－２６１１

春加八潮医師会
収受
5.4.11
第 44 号

埼玉県医師会会長　金井忠男　殿-

日頃から本会の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

この度は、シナジス（一般名パリビズマブ）の投与開始時期の考え方と、投与開始の目安など、関係医師および医療機関への周知等についてご協力いただきたく、昨年同様、依頼文を提出させていただきました。

RS ウイルス感染症は早産児や先天性心疾患、ダウン症候群、免疫不全症などの基礎疾患を有する乳幼児に肺炎、細気管支炎などを起こし、重篤化することが知られていることから、その流行に先立ち予防薬であるシナジス（一般名パリビズマブ）を、一定期間投与し続けることが、保険診療として認められていますが、関係各医療機関等への流行基準等の目安の公平な情報の周知が難しい状況にあります。

そこで埼玉県医師会感染症対策委員会のお力をお借りして、関係団体（埼玉県小児科医会、埼玉県産婦人科医会、郡市医師会等）への流行基準目安・シナジス投与開始時期の目安などの情報提供をお願いできればと考えております。

またシナジスの薬価が高額であるため、支払基金等の支払い団体についても、投与開始時期などにつき情報提供していただくことをお願いいたします。

なお RS ウイルス感染症流行の目安等の判断につきましては、日本小児科学会埼玉地方会関係者で構成される「RSV 感染症流行監視ワーキンググループ」によって行われ、貴医師会等へ情報発信をさせていただく予定です。

是非ともご協力の程よろしくお願いいたします。

令和５年４月吉日

日本小児科学会埼玉地方会会長　森脇　浩一

埼玉県RSウイルス感染防止WGからのお知らせ

―２０２３年度パリビズマブ投与に関してー

今シーズンのRSVの流行は、ここ数年の流行パターンと異なり４月初旬から始まっています。４月５日現在、県の定点報告で0.34と準備開始と提唱している0.3をすでに超えている状況です。また、入院患者のサーベイランス報告でも入院患者が週15，16人と増加の傾向にあります（同日現在）。以上よりWGでは今シーズンの投与は５月からを推奨します。原則８回投与で、12月までとなりますが、その時点で流行があれば再検討いたします。

パリビズマブは反復投与で血清抗体価が十分な有効血中濃度まで上昇がみられ、投与後１か月まで維持することができるとされています。そのため、４週間毎の投与間隔を遵守し軽微な感染症で延期することは避けることが望まれます。

詳しい内容は、日本小児科学会埼玉地方会のHPをご参照ください。

2023年４月５日　埼玉県RSウイルス感染防止WG　國方徹也

日本小児科学会埼玉地方会　　森脇浩一